

(2) 入学者に関する受け入れ方針、入学者数、収容定員、在学者数、卒業者数、進学者数、就職者数
及び卒業後の主な進路

(2)－1 入学者に関する受入方針

2025年5月1日現在

埼玉工業大学 工学部	
機械工学科	【入学者に関する受け入れ方針】 機械工学科では、建学の精神に基づいて、使命感・人生観・連帯感を有した機械系技術者や教育者を、ものづくり技術やIT応用技術、AI・ロボット技術を通して育成するため、次のような資質・能力を複数備えた学生を求める。 <知識・技能> ○ 本学の機械工学科の学びに必要な基礎的知識(数学・理科・情報)を身につけ、機械の原理・法則、機構・動作のしくみを学ぶための力学に関連した基礎教育、IoTやAIを学ぶための情報に関連した基礎教育に十分対応できる能力を有している。 ○ 本学の機械工学科の学びに必要な基礎的技能(設計・工作、電気・電子、情報・プログラミング等)を身につけている。 <思考・判断・表現> ○ 自分の考えや質問の答えを明確に説明することができる。 ○ 文章理解力や作文能力を身につけている。 ○ 基礎的な英語力を身につけている。 <主体性・意欲・協働性> ○ 機械の仕組みやものづくり技術、IoTやAIの機械への活用に強い興味があり、機械系技術者になることを希望する。 ○ 機械・情報に強い関心を持ち、継続して学習する意欲がある。 ○ 科学的に探究して解決に取り組むチャレンジ精神を有している。 ○ 技術者として社会に貢献しようとする意欲がある。 ○ 仲間と協力し、物事を進めることができる。 <入学者選抜> ○ 機械工学科においては、以上の資質・能力等を総合・多面的に評価するため、総合型選抜入試・一般選抜入試・大学入学共通テスト利用入試・学校推薦型選抜入試で入学者選抜を実施する。
生命環境化学科	【入学者に関する受け入れ方針】 生命環境化学科では、建学の精神に基づいて、使命感・人生観・連帯感を有した生命科学、環境科学、材料化学分野の発展に貢献しうる問題解決能力と実践的応用力を潜在的に併せ持つ以下の要件を満たす入学生を選抜している。 <知識・技能> ○ 生命環境化学科の学びに必要な化学、生物、数学、情報などの基礎的知識を身につけ、生命科学、環境科学、材料化学に関連した教育に十分対応できる能力を有している。 ○ 大学での勉学・研究を開始するために必要な言語能力を有する。 <思考・判断・表現> ○ 自分の考えや質問の答えを明確に説明することができる。 ○ 文章理解力や作文能力を身につけている。 <主体性・意欲・協働性> ○ 「実験」が好きで、技術力、実践力を実社会で大いに発揮したい意欲をもつ。 ○ 好奇心が旺盛で、失敗を恐れず積極的にチャレンジする挑戦心に富む。 ○ 自らの興味に沿った活動を積極的に展開し、世界を開拓したいパイオニア精神をもつ。 ○ 身につけた科学的知識や技術などの多彩な経験を、専門職業人として生かす意欲をもつ。 ○ 連帯感をもち、仲間と協力し協働的に物事を進めることができる。 <入学者選抜> ○ 生命環境化学科においては、以上の資質・能力等を総合的・多面的に評価するため、総合型選抜入試・一般選抜入試・大学入学共通テスト利用入試・学校推薦型選抜入試で入学者選抜を実施する。

情報システム学科	【入学者に関する受け入れ方針】 これからの高度情報化社会(情報通信、電気自動車、情報家電、物流など)を支えるICT(情報通信技術; Information and Communication Technology)技術者が強く求められている。 ソフトウェア、ハードウェアに精通して総合力を発揮し情報システムを構築できるICT技術者の養成を教育の理念としている。このため、本学科ではソフトウェアに重点を置いた情報システム技術(コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア、プログラミング、CG 等)と、生物の知能を模倣し計算機上で実装、活用するAI(人工知能)技術、AIの応用事例としての自動運転技術、電子工学に重点を置いた電子情報技術(電子デバイス、電子回路、通信、デジタル情報など)を教育しており、以下の適性を持つ学生を入学試験で求めている。 ＜知識・技能＞ ○ 情報システム学の学習に必要な基礎学力とコミュニケーション能力を有する人 ○ コンピュータ、情報通信の分野に強い興味と関心を持つ人(IT専攻) ○ AI(人工知能)の仕組み、開発、運用に強い興味と関心を持つ人(AI専攻) ○ ハードウェア、ソフトウェア両面の知識を身につけた自動運転技術者を目指したい人(自動運転専攻) ○ 電気電子工学に関する高度な専門知識を身につけ社会でニーズの高い電子技術者を目指したい人(電気電子専攻) ＜思考・判断・表現＞ ○ 自分の考えや質問の答えを明確に説明することができる。 ○ 文章理解力や作文能力を身につけている。 ○ 基礎的な英語力を身につけている。 ＜主体性・意欲・協働性＞ ○ 情報システム技術、人口知能技術や電子情報技術に強い興味があり、情報システム系技術者になることを希望する。 ○ ものづくりに興味があり、自分の手で新しいものを創り出すことに意欲がある。 ○ 技術者として社会に貢献しようとする意欲がある。 ○ 好奇心が旺盛で、何事にも積極的かつ自主的に取り組むことができる。 ○ 仲間と協力し、物事を進めることができる。 ＜入学者選抜＞ ○ 情報システム学科においては、以上の資質・能力等を総合・多面的に評価するため、総合型選抜入試・一般選抜入試・大学入学共通テスト利用入試・学校推薦型選抜入試で入学者選抜を実施する。
----------	---

埼玉工業大学 人間社会学部	
情報社会学科	【入学者に関する受け入れ方針】 情報社会学科は、幅広い教養と知識基盤社会で必要とされる知識・技能を身につけ、それらを主体的に活用して社会に貢献できる人材を育成することを目指しています。これを実現するために、社会の様々な分野において、自ら課題を発見し解決することを通じて変化の激しい現代社会に対応し、主体的に活動してゆこうとする人を求めています。具体的には以下のような意欲を持った入学者を受け入れます。 一 経営全般にわたる専門知識を修得し、現代社会の様々な課題に立ち向かっていきたい人 二 情報技術に関する専門的な知識、技能を活かした表現活動をしたい人 三 情報化社会に求められる教養、知識を身につけ、社会で活用したいと考えている人 また、すべての入学者について、高等学校において国語・英語・数学等の教科の基礎学力をしっかりと身につけておくことを求めます。 こうした入学者を受け入れるため、一般選抜の他、学校推薦型選抜、総合型選抜等の多様な入学者選抜方法によってその適性を確認します。一般選抜では主に個別学力検査または大学入学共通テストの結果に基づいて評価を行いますが、一部の試験区分では調査書も評価に活用します。学校推薦型選抜並びに総合型選抜では口頭試問・面接・調査書・志望理由書等により総合的に評価を行います。

心理学科	【入学者に関する受け入れ方針】 心理学科では、教育研究上の目的を実現するために、以下のような人材を広く求めています。 ビジネス心理専攻では、心理学の専門知識とともにビジネスに関する知識も身につけたい人や、自分や他者の心を客観的に理解する力を仕事や人間関係の中で応用し、他者と協調しながら社会で活躍できるようにしたい人を求めています。 臨床心理専攻では、心理学の基礎的な知識を着実に身につけながら臨床心理学を学びたい人や、人の役に立ちたいという思いを実現するために、公認心理師などの資格取得を考えて、意欲的に専門知識を学び実習に参加しようという人を求めています。 両専攻とも、入学者には、高等学校における教育課程を広く履修して基礎的な学力を身につけていること、また基本的な思考力や表現力を有していることを求めます。 このような入学者を受け入れるため、一般選抜の他、大学入学共通テスト、学校推薦型選抜、総合型選抜等の多様な選抜方法によってその適性を確認します。 一般選抜と大学入学共通テストでは学力試験により、学校推薦型選抜と総合型選抜では、面接、書類審査、口頭試問、課題審査等により評価を行います。
------	--

埼玉工業大学 大学院 工学研究科 博士前期課程	
機械工学専攻	【入学者に関する受け入れ方針】 今日、われわれの豊かな生活はエネルギーに依存する度合いが極めて高く、特に近年の知識集約的高度産業に見られるように、エネルギー生産にかかわる諸々の技術の高効率化と環境に対する負荷低減が強く要請されている。一方、生産システムが高度になるほど、より高機能な力学特性を持つ構造材料の設計・開発、新しい加工技術、自然災害を含む外部からの力学的擾乱に対する能動のおよび受動的制御が求められる。また、機械工学は生産に携わるあらゆる産業の基盤であるばかりでなく、到来しつつある高齢化社会において人々の暮らしをサポートして、豊かな生活から幸福な生活への転換を促す技術開発においても要となる分野である。 本専攻は、このような社会的要請に対応して、高効率性の追求と同時に、来るべき高齢化社会に備えて機械工学的見地から豊かで幸福な人間生活のための柔軟で新しい科学技術の発展に貢献し得る優れた技術者、研究者を育成することを目的としている。 このような目的に照らして、本専攻では、「エネルギー工学教育研究分野」及び「機械システム工学教育研究分野」の2教育研究分野を設けて、理論的、実験的に教育研究を行う。 (1) エネルギー分野や機械システム分野とその応用に興味を持ち、本専攻での学習・研究を強く希望するもの (2) 上記の学習に必要な基礎学力と英語を含めたコミュニケーション能力を有するもの (3) 明確な目的意識を持って、積極的かつ自主的に研究に取り組み、得られた成果を社会に還元する意欲を持ったもの
生命環境化学専攻	【入学者に関する受け入れ方針】 科学技術の進歩が著しい中で、特に21世紀の重要課題である、新素材の開発、環境問題の解決、バイオテクノロジーの発展などにおいて、飛躍的な発展が続いている。 本専攻では、現代および将来に求められる広範な生命環境化学領域の専門性に対応して、材料化学、環境化学、生命化学の3分野を設け、社会のニーズに応え、科学技術の進歩に柔軟に対応し、21世紀の日本を支える優れた技術者、研究者を育成することを目指している。以上の方針に基づき、本専攻では以下のような大学院生を求めている。 (1) 材料化学、環境化学、生命化学関連分野に興味を持ち、本専攻での学習・研究を強く希望する人 (2) 「研究」および「実験」が好きで、技術力・実践力・創造力を大いに発揮したい人 (3) 好奇心が旺盛で、失敗を恐れず積極的にチャレンジするパイオニア精神をもつ人 (4) 身につけた科学的知識や専門技術を専門技術者・研究者として生かす意欲のある人 (5) 明確な目的意識を持って、積極的かつ自主的な姿勢で研究活動に取り組める人

情報システム専攻	【入学者に関する受け入れ方針】 情報システム工学は、現代の高性能コンピュータやインターネット社会の中心的な役割を果たしている。コンピュータネットワークには、有線・無線通信技術や信号処理技術の発展が必要である。また、工学とは人間生活を豊かにする学問でもあり、人間と機器に友好的なインタフェース、生体情報を利用した情報セキュリティ、深層学習、医用画像処理など工学的、ヘルスケア科学の見地から日常生活を支援する研究が重要になっている。さらに、コンピュータ・ハードウェアの更なる発展のためには、ナノテクや量子効果を利用したデバイスの開発やこれらに用いる新材料の開発が不可欠である。このようなシステムを連携する情報処理技術の高度化、統合化に関する要請も重要になっている。このため、ソフトからハード、基礎から応用まで情報システム工学に関する幅広い知識を持つ人材が求められている。 以上のことから、本専攻では次のような大学院生を求めている。 (1) 情報工学、システム工学、ネットワーク工学、ロボット工学、電子デバイス、通信工学、画像工学、信号処理、人工知能、光波センシング、材料工学、量子物理学、知能情報学、ディープラーニング、健康と社会、認知インタフェース、リハビリテーションなどの情報システム工学関連分野や、ヘルスケア科学に興味を持ち、本専攻での学習・研究を強く希望するもの (2) 上記の学習に必要な基礎学力とコミュニケーション能力を有するもの (3) 明確な目的意識を持って、積極的かつ自主的に研究に取り組めるもの
----------	---

埼玉工業大学 大学院 工学研究科 博士後期課程	
機械工学専攻	【入学者に関する受け入れ方針】 今日、我々の豊かな生活は、エネルギーに依存する度合いが極めて高く、特に近年知識集約の高度産業に見られるように、エネルギー生産にかかわる諸々の技術の高効率化が強く要望されている。それと同時に、工学は人間生活を豊かにする学問でもあり、工学的見地から人間を支援する研究が重要になっている。 本専攻は、このような社会的要請に対応して、高効率性の追求と同時に、来るべき高齢化社会に備えて機械工学的見地から豊かで幸福な人間生活のための柔軟で新しい科学技術の発展に貢献し得るとともに、これまでにない新技術や新分野に対応できる優れた技術者、研究者を育成することを目的としている。 このような目的に照らして、本専攻では、「エネルギー工学教育研究分野」及び「機械システム工学教育研究分野」の2教育研究分野を設けて、理論的、実験的に教育研究を行う。 (1) エネルギー分野や機械システム分野とその応用に興味を持ち、本専攻での学習・研究を強く希望するもの (2) 上記の学習に必要な基礎学力と英語を含めたコミュニケーション能力、特に英語で研究成果を発信する能力を有するもの (3) 明確な目的意識を持って、積極的かつ自主的に研究に取り組み、得られた成果を社会に還元する意欲を持ったもの
生命環境化学専攻	【入学者に関する受け入れ方針】 人間生活の基盤を支える物質は、科学技術の進歩とともにますます増加し、互いに有機的な結びつきを深めている。科学技術の進歩が著しい中で、応用化学の研究分野も大きく広がっている。特に、21世紀の重要課題である、新素材の開発、環境問題の解決、バイオテクノロジーの発展などにおいて、応用化学の果たす役割は重大である。 本専攻では、現代および将来に求められる広範な生命環境化学領域の専門性に対応して、材料化学、環境化学、生命化学の3分野を設け、社会のニーズに応え、科学技術の進歩に柔軟に対応し、21世紀の日本を支える優れた技術者、研究者の育成を目指している。 以上の教育方針に基づき、本専攻博士後期課程では以下の視点からの専門性の高い大学院生を求めている。 (1) 材料化学、環境化学、生命化学関連分野に興味を持ち、本専攻での学習・研究を強く希望する人 (2) 「研究」および「実験」が好きで、技術力・実践力・創造力を大いに発揮したい人 (3) 好奇心が旺盛で、失敗を恐れず積極的にチャレンジするパイオニア精神をもつ人 (4) 身につけた科学的知識や専門技術を専門技術者・研究者として生かす意欲のある人 (5) 明確な目的意識を持って、積極的かつ自主的な姿勢で研究活動に探究的・計画的に取り組める人

情報システム専攻	【入学者に関する受け入れ方針】 情報システム工学は、現代の高性能コンピュータやインターネット社会の中心的な役割を果たし、現在も発展を続けている。本専攻では、情報工学、電子工学の二つの教育研究分野に分れ、基礎理論から応用技術まで幅広く国際的に活躍できる豊かな見識と高い倫理観をもつ研究者の育成を行う。以上のことから、本専攻では次のような大学院生を求めている。 (1) 電子情報システム工学関連分野に興味をもち、その学習に必要な高度な学力とコミュニケーション能力を有するもの (2) 明確な目的意識を持って、積極的かつ自主的に研究に取り組めるもの
----------	--

埼玉工業大学 大学院 人間社会研究科 修士課程	
情報社会専攻	【入学者に関する受け入れ方針】 《情報社会システム教育研究分野》 本教育研究分野では、情報科学、経営学、法学などの学部卒業程度の学力、社会知識を有する人材を受け入れます。また、「教育とは生涯に渡って継続されるもの」という理念に基づいて、大学学部を卒業した後において、科学・技術・社会・文化の発展に伴って再教育の必要性を感じている社会人も積極的に受け入れます。教職課程では高等学校教諭専修免許状(情報)取得を希望する人を受け入れます。 《メディアデザイン教育研究分野》 本教育研究分野では、デジタル技術を活用した制作/表現に関する基礎知識、創作活動に対する意欲を兼ね備え、学部卒業程度の学力を有する人材を受け入れます。また大学学部を卒業した後において、コンピュータを駆使したコンテンツ制作能力を身につけたい人、高度な専門教育を必要とする社会人も積極的に受け入れます。教職課程では高等学校教諭専修免許状(情報)取得を希望する人を受け入れます。
心理学専攻	【入学者に関する受け入れ方針】 《実験心理学教育研究分野》 本教育研究分野では、実験心理学に関する優れた研究能力と実践的応用力を身につけて高度の専門的職業人や研究技術者を目指す人、大学院博士課程に進学して研究者への道を志す人、あるいは心理学関連の専門職(心理職公務員等)を希望する人など、多彩な人材を求めています。 《臨床心理学教育研究分野》 本教育研究分野では、幅広い心理学の知識を修得し、その上で臨床心理学の知識と技術および心理臨床についての倫理観を備え、公認心理師や臨床心理士資格を取得し、高度な専門的職業人をを目指す人材を求めています。 公認心理師資格取得を目指す人は、大学(学部)等で公認心理師養成カリキュラムにより単位取得をした上で卒業していること、もしくは卒業した大学により公認心理師受験資格の特例措置が認められることが大学院修了後に公認心理師受験資格を得る条件となります。

(2)－2 入学定員・入学者数・収容定員・在学者数 (2025年5月1日現在)

工学部	入学定員		入学者数		収容定員		在学者数	
機械工学科	100	人	78	人	400	人	337	人
生命環境化学科	60	人	44	人	240	人	189	人
情報システム学科	200	人	224	人	800	人	942	人
総合工学系	—	人	6	人	—	人	6	人
工学部合計	360	人	352	人	1,440	人	1,474	人

人間社会学部	入学定員		入学者数		収容定員		在学者数	
情報社会学科	90	人	107	人	360	人	410	人
心理学科	50	人	49	人	200	人	175	人
人間社会学部合計	140	人	156	人	560	人	585	人

埼玉工業大学 学部	入学定員		入学者数		収容定員		在学者数	
学部合計	500	人	508	人	2,000	人	2,059	人

埼玉工業大学 学部	収容定員	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
定員充足率	2,000人	118.70%	119.60%	109.10%	104.30%	102.95%

工学研究科 前期課程	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
機械工学専攻	6 人	8 人	12 人	24 人
情報システム専攻	7 人	4 人	14 人	18 人
生命環境化学専攻	7 人	9 人	14 人	22 人
前期課程合計	20 人	21 人	40 人	64 人

工学研究科 後期課程	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
機械工学専攻	2 人	2 人	6 人	6 人
情報システム専攻	2 人	2 人	6 人	9 人
生命環境化学専攻	2 人	3 人	6 人	6 人
後期課程合計	6 人	7 人	18 人	21 人

人間社会研究科 修士課程	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
情報社会専攻	10 人	0 人	20 人	2 人
心理学専攻	15 人	7 人	30 人	11 人
修士課程合計	25 人	7 人	50 人	13 人

埼玉工業大学 大学院	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
大学院合計	51 人	35 人	108 人	98 人

埼玉工業大学 合計	入学定員	入学者数	収容定員	在学者数
合 計	551 人	543 人	2,108 人	2,157 人

(2)－3 卒業者数・進学者数・就職者数

工学部	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数
機械工学科	123	9	110	109 人
生命環境化学科	62	8	50	46 人
情報システム学科	150	4	138	137 人
工学部合計	335 人	21 人	298 人	292 人

人間社会学部	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数
情報社会学科	85	2	76	72 人
心理学科	33	4	26	25 人
人間社会学部合計	118 人	6 人	102 人	97 人

埼玉工業大学 学部	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数
学部合計	453 人	27 人	400 人	389 人

工学研究科 前期課程	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数
機械工学専攻	13	0	11	11 人
生命環境化学専攻	8	3	3	3 人
情報システム専攻	10	2	6	6 人
前期課程合計	31 人	5 人	20 人	20 人

工学研究科 後期課程	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数
機械工学専攻	3	0	2	2 人
生命環境化学専攻	2	0	1	1 人
情報システム専攻	3	0	1	1 人
後期課程合計	8 人	0 人	4 人	4 人

人間社会研究科 修士課程	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数
情報社会専攻	1	0	0	0 人
心理学専攻	4	0	3	3 人
修士課程合計	5 人	0 人	3 人	3 人

埼玉工業大学 大学院	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数
大学院合計	44 人	5 人	27 人	27 人

埼玉工業大学 合計	卒業者数	進学者数	就職希望者数	就職者数
合 計	497 人	32 人	427 人	416 人

(2)－4 主な就職先（過去5年）

埼玉工業大学 工学部		
	機械工学科専攻	ロボット・スマート機械専攻
機械工学科	パナソニック 東芝 日本製鉄 東海旅客鉄道 スズキ キッコーマン 明治 住友電気工業 三菱マテリアル 五洋建設	明治 山崎製パン IHI 日産自動車 西松建設 太平洋セメント アルプスアルパイン 損害保険ジャパン 埼玉県教育委員会(教員)

生命環境化学科	バイオ・環境科学専攻		応用化学専攻	
	旭化成 カナデビア 東京瓦斯 東京電力ホールディングス 山崎製パン 積水ハウス 東急電鉄 ヤマト運輸		三井化学 東京瓦斯 太陽誘電 西日本旅客鉄道 エスブースパイス工業 セコム ジャパンエレベーターサービスホールディングス 埼玉県教育委員会(教員) 茨城県教育委員会(教員) 北本市教育委員会(教員)	
情報システム学科	IT専攻	AI専攻	電気電子専攻	
	キヤノン セイコーエプソン シャープ ニデック 森永乳業 京セラ 日産自動車 富士ソフト 群馬県教育委員会(教員) 埼玉県教育委員会(教員)	東海旅客鉄道 王子ホールディングス IHI 太陽生命保険 沖電気工業 富士ソフト トランスコスモス キヤノンシステムアンドサポート 埼玉県教育委員会(教員) 長野県教育委員会(教員)	東京電力ホールディングス 富士電機 三井住友海上火災保険 本田技研工業 住友電気工業 荏原製作所 資生堂 シャープ 東日本旅客鉄道 沖電気工業	

埼玉工業大学 人間社会学部		
情報社会学科	経営システム専攻	
	日本通運 日本郵便 マルハニチロ 麒麟ビバレッジ ニトリ 富士ソフト ベルーナ 栃木県警察本部 埼玉県教育委員会(教員) 飯能市役所	メディア文化専攻 東日本電信電話 ブリヂストン 麒麟ビバレッジ 太陽誘電 セブーンイレブン・ジャパン 小倉クラッチ コスモス薬品 ベルク 防衛省 陸上自衛隊 群馬県教育委員会(教員)

	臨床心理専攻		ビジネス心理専攻	
心理学科	法務省(刑務官) リコージャパン セコム カワチ薬品 ヤマダホールディングス ベネッセスタイルケア さいたま市役所 栃木県教育委員会(教員) 群馬県庁 西武学園文理高等学校(教員)		NTTデータ ゆうちょ銀行 イオンディライト 丸三証券 カワチ薬品 特別養護老人ホームかがやき 群馬県警察本部 深谷市役所 熊谷市役所 防衛省 陸上自衛隊	

埼玉工業大学 大学院	
工学研究科	エア・ウォーター(株)、テイエステック(株)、ニチコン(株)、(株)テクノメディカ、富士ソフト(株)、(株)SUBARU、(株)ヨコオ、山洋電気(株) 他
人間社会研究科	(株)ファイバーゲート、ワイツーエム(株)、医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院、医療法人昭友会 埼玉森林病院、社会福祉法人 昴、群馬県庁 他

